

第 2 回

人とまちのウェルビーイング

# 高齢社会

## 2030を考える会

認知症 それがどうした！と笑い飛ばせる地域社会の未来

参加費  
無料

事前登録  
必要

日 時

2019年5月28日(火)

17:30-19:30

定員 先着 50 名様

会場 梅田グランフロントC棟713  
大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所  
都市魅力研究室

第 1 部 17:30-18:40

『経世済民の新しいカタチ  
…作業療法の枠を超えて見えてきたこと』

講師：小川 敬之 さま

(京都橘大学健康科学部 教授、NPO地域支援センターつながり 理事長)

第 2 部 18:40-19:30

対談～会場とのディスカッション

対談者：小川敬之さま、エネルギー・文化研究所池永顧問

お申し込み・問い合わせは

大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所  
担当：遠座(おんざ)

参加お申し込みの際は、以下のメールアドレスに  
お名前とご所属、参加人数をご記載ください。

MAIL : [onza@osakagas.co.jp](mailto:onza@osakagas.co.jp)

URL : <http://www.og-cel.jp/>

TEL : 06-6205-2728

## 高齢社会2030を考える会のご案内

医療技術の目覚ましい進歩により長くなる寿命、少子化とそれによる高齢者比率の増大、単身世帯の増加、ICTによる社会の急激な変貌…。今後2030年に向けて、個人、家族、地域、そして企業や学校のカタチはどのように変化していくのでしょうか？

エネルギー・文化研究所では、かつて我が国が培ってきたものも再考しながら、“人の幸福感”について考え、持続可能な新しい“縁”社会に向けて今取り組まなければならないことの検討を行う“高齢社会2030を考える会”を4半期ごとにシリーズで開催することにしました。この会では、講師の一方的な講演ではなく、参加者と講師とのディスカッションによる双方向で多面的な議論を行いたく思っています。

自治体のまちづくりや健康・福祉政策の担当者、大学の研究者、企業やNPO等でCSRや高齢社会の地域課題に取り組んでいらっしゃる方々にぜひご参加いただき、高齢社会2030年のデザインについて一緒に考えていきたいと思えます。

担当：遠座（おんざ）

